

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年10月22日掲載

1年2組 中 風花

私には、姉が二人、妹が三人います。そして、9月24日の朝もう一人妹が生まれました。私は七人姉妹の三女となりました。早くから母が出産のため入院をしたため、いつ生まれるのかと思いながらこの数日過ごしていました。家では母がいない間、父と二人（姉二人は高校卒業後家を出ているため）で洗濯や掃除、食器洗いや妹たちの世話などを行ってきました。生まれた当日、私が学校から帰ってくると祖母から「うまれたよ」と聞いたときは言葉にならないぐらいうれしかったです。

次の日、家族みんなで母と赤ちゃんに会いに行きました。母のお腹から生まれてきた赤ちゃんを抱いた時、とても小さくて、たまに笑うところが可愛かったです。母と赤ちゃんが帰ってきたときには、私が赤ちゃんのおむつを替えてあげたり、泣いているときには抱いてあやしてあげたり、自分のできることは精一杯してあげたいとおもいました。母は入院中何度も点滴を繰り返し返して赤ちゃんを産むために一生懸命頑張っていました。私や他の姉妹の時もそうだったのかと想像すると自分の事や家族を大事にしたいと改めて思いました。母が家に帰ってきた後も、何でも母に任せず、洗濯や食器洗いなど自分から進んで行い、少しでも母が楽になり、赤ちゃんと楽しく生活していきたいと思います。私はこの家に生まれてとても幸せです。